事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

8454　**都市計画道路整備事業（県工事負担金）**

［長期総合計画］

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政　策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施　策	1	基幹道路網の整備
取組方針	1	重点整備区間道路の整備

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画道路費		
	目	都市計画道路総務費		
	大事業	都市計画道路総務事業		
	中事業	都市計画道路整備事業（県工事負担金）		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	道路政策課	林　尚久	435-1328
事業実施の根拠法令	地方財政法第27条	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	関係機関と協力し、重点整備区間の早期完成を目指す。	南港山東線の整備（県事業）に係る市負担金を支出する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	県施行の都市計画事業（南港山東線）に係る工事費等に対する市負担金（市負担率1/6）を支出する。	県施行の都市計画事業（南港山東線）に係る工事費等に対する市負担金（市負担率1/6）を支出する。	県施行の都市計画事業（南港山東線）に係る工事費等に対する市負担金（市負担率1/6）を支出する。	県施行の都市計画事業（南港山東線）に係る工事費等に対する市負担金（市負担率1/6）を支出する。	県施行の都市計画事業（南港山東線）に係る工事費等に対する市負担金（市負担率1/6）を支出する。

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		3,333	21,417	833	1,066	8,333	0	8,333	0	8,333	0
伸び率（%）		△94.7%	△85.1%	△75%	△95%	900.4%	△100%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	1,013	1,013	936	1,014	956	1,035	956	0	956	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,013	1,013	936	1,014	956	1,035	956	0	956	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		2,900	19,000	700	900	7,400	0	7,400	0	7,400	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		433	2,417	133	166	933	0	933	0	933	0
所要人数（人）	正規職員	0.13	0.13	0.12	0.13	0.12	0.13	0.12	0.00	0.12	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		和歌山県施行の都市計画道路事業に係る工事費等に対する市負担金支出事務 都市計画事業県工事費等負担金　8,333千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	和歌山県への意見書の提出回数 【和歌山県施行の都市計画道路事業に係る工事費等に対する市負担金支出事務】	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3	2	2		
			達成度(%)	150%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	都市計画道路の整備進捗率	千円	目標値	3,333	833	8,333	8,333	8333
			実績値	21,417	1,066	0		
			達成度(%)	642.57%	127.97%	0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	都市計画法第５９条で、都市計画道路などの都市計画事業は、原則として市が施行することとされており、県は市が施行することが困難又は不適当な場合その他特別な事情がある場合に施行することとされています。 本市の長期総合計画による都市計画道路の整備を早期に進めるために、県市で役割分担を行い実施している状況であることから、県施行の都市計画道路事業に係る負担金は現状維持が妥当と考えています。
見直し・改善内容	上記の理由により、見直し・改善内容はありません。

事務事業チェックシート

事務事業No　21750　　事業名　**都市計画道路整備事業**

［長期総合計画］

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政　策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施　策	1	基幹道路網の整備
取組方針	1	重点整備区間道路の整備

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業			
	中事業			

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	道路建設課	内田　信行	435-1087
事業実施の根拠法令		関連課	道路政策課　用地課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	都市計画道路の整備を促進し、道路ネットワークの構築を図る	都市計画道路のうち重点整備区間道路（今福神前線、有本中島線）の道路網整備

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	今福神前線及び有本中島線の早期整備、早期完成	今福神前線及び有本中島線の早期整備、早期完成	今福神前線及び有本中島線の早期整備、早期完成	今福神前線及び有本中島線の早期整備、早期完成	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		347,483	844,352	400,423	1,158,735	229,166	708,678	252,069	0	252,069	0
伸び率（%）		△50.4%	△29.6%	15.2%	37.2%	△42.8%	△38.8%	10%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	95,608	93,660	94,356	101,219	60,417	51,422	102,844	0	0	0
	正規職員以外	2,698	3,897	1,935	427	0	0	0	0	0	0
	小計	98,306	97,557	96,291	101,646	60,417	51,422	102,844	0	0	0
国庫支出金		161,297	466,552	183,800	551,379	97,500	361,675	117,000	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		183,700	342,100	200,400	537,900	113,500	316,900	115,600	0	0	0
そ の 他		11	872	16	748	1,397	1,478	1,396	0	0	0
一般財源（税等）		2,475	34,828	16,207	68,708	16,769	28,625	18,073	0	252,069	0
所要人数（人）	正規職員	12.27	12.02	12.10	12.98	7.59	6.46	12.92	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.54	0.78	0.38	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		委託料13,530千円　工事請負費8,846千円　土地購入費25,000千円　補償金169,000千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	用地買収筆数	筆	目標値	31	40	10	6	
			実績値	21	30	4		
			達成度(%)	67.7%	75.0%	40.0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	事業進捗状況（全体事業費）	千円	目標値	1,071,855	1,232,277	732,118	629,341	252,069
			実績値	844,352	1,158,735	708,678		
			達成度(%)	78.8%	94.0%	96.8%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	都市計画道路において地域間の道路ネットワークが構築されることで、円滑な移動が確保され、重点整備区間道路の整備の推進を図れているか。
見直し・改善内容	今福神前線、有本中島線の２路線の事業の早期完成に向け進捗を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

18856　　**第二阪和国道（和歌山岬道路）整備促進事業**

［長期総合計画］

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政　策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施　策	1	基幹道路網の整備
取組方針	2	広域幹線道路の整備促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画道路費		
	目	第二阪和国道建設事業費		
	大事業	第二阪和国道建設事業		
	中事業	第二阪和国道（和歌山岬道路）整備促進事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	道路政策課	林　尚久	435-1328
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	第二阪和国道の４車線化の促進	第二阪和国道整備関連事業

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	第二阪和国道整備関連事業に伴う事務	第二阪和国道整備関連事業に伴う事務	第二阪和国道整備関連事業に伴う事務	第二阪和国道整備関連事業に伴う事務	第二阪和国道整備関連事業に伴う事務

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		162	161	164	10	168	10	72	0	72	0
伸び率（%）		0%	1.3%	1.2%	△93.8%	2.4%	0%	△57.1%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,793	2,026	1,950	2,028	2,070	2,070	1,911	0	1,911	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,793	2,026	1,950	2,028	2,070	2,070	1,911	0	1,911	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		162	161	164	10	168	10	72	0	72	0
所要人数（人）	正規職員	0.23	0.26	0.25	0.26	0.26	0.26	0.24	0.00	0.24	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		各種会議負担金　108千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	要望活動回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	要望書提出件数	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	17	20	31		
			達成度(%)	170%	200%	310%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	順調に事務を執行した。
見直し・改善内容	なし。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

18857　　**京奈和自動車道整備促進事業**

［長期総合計画］

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政　策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施　策	1	基幹道路網の整備
取組方針	2	広域幹線道路の整備促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画道路費		
	目	京奈和自動車道建設事業費		
	大事業	京奈和自動車道建設事業		
	中事業	京奈和自動車道整備促進事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	道路政策課	林　尚久	435-1328
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	京奈和自動車道の早期全線開通及び４車線化の促進 京奈和自動車道から第二阪和国道までの連絡道路の事業化の促進	京奈和自動車道整備関連事業

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	京奈和自動車道整備関連事業及び連絡道路事業化の促進に伴う要望等	京奈和自動車道整備関連事業及び連絡道路事業化の促進に伴う要望等	京奈和自動車道整備関連事業及び連絡道路事業化の促進に伴う要望等	京奈和自動車道整備関連事業及び連絡道路事業化の促進に伴う要望等	京奈和自動車道整備関連事業及び連絡道路事業化の促進に伴う要望等

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		2,015	753	2,017	1,032	2,020	1,903	2,085	0	2,085	0
伸び率（%）		△2.3%	98.2%	0.1%	37.1%	0.1%	84.4%	3.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,793	2,026	1,950	2,028	2,070	2,070	1,911	0	1,911	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,793	2,026	1,950	2,028	2,070	2,070	1,911	0	1,911	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		2,015	753	2,017	1,032	2,020	1,903	2,085	0	2,085	0
所要人数（人）	正規職員	0.23	0.26	0.25	0.26	0.26	0.26	0.24	0.00	0.24	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		和歌山県京奈和自動車道建設促進協議会負担金　222千円　和歌山環状北道路及び紀淡海峡大橋建設促進和歌山市議会議員連盟交付金　1,500千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	要望活動回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
			達成度(%)	100%	100%	%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	要望書提出件数	件	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	31	35	105		
			達成度(%)	103.33%	116.67%	350%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	順調に事務を執行した。
見直し・改善内容	なし。

事務事業チェックシート

事務事業No　15023　　事業名　**地方道整備事業**

［長期総合計画］

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政　策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施　策	2	生活道路の整備
取組方針	1	道路の新設・改良の促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業			
	中事業			

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	道路建設課	内田　信行	435-1087
事業実施の根拠法令	道路法、道路構造令	関連課	用地課		

1　事業内容

（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
道路利用者が安全・安心に通行できる道路整備	生活道路において、安心・安全な道路環境を確保するため、道路の新設・改良を行う。（測量設計業務、用地買収、物件補償、道路改良工事他）

	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
事業内容	市駅湊線、坂田磯の浦線、青少年国際交流センターアクセス道路、道の駅「四季の郷公園」アクセス道路、市駅小倉線（吉田交差点）、和歌浦口雑賀崎線、外16路線	市駅湊線、青少年国際交流センターアクセス道路、道の駅「四季の郷公園」アクセス道路、市駅小倉線（吉田交差点）、南港山東線アクセス道路（岡崎130号線）、和歌浦口雑賀崎線、外17路線	市駅湊線、青少年国際交流センターアクセス道路、道の駅「四季の郷公園」アクセス道路、南港山東線アクセス道路（岡崎130号線）、（仮称）梅原広場アクセス道路、紀伊駅前広場、和歌浦口雑賀崎線外17路線	市駅湊線、青少年国際交流センターアクセス道路、道の駅「四季の郷公園」アクセス道路、南港山東線アクセス道路（岡崎130号線）、（仮称）梅原広場アクセス道路、紀伊駅前広場、和歌浦口雑賀崎線外16路線	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		903,385	1,512,339	1,182,410	1,680,437	1,287,513	2,006,381	588,245	0	588,425	0
伸び率（%）		△26.4%	△15.9%	30.9%	11.1%	8.9%	19.4%	△54.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	116,101	140,568	122,351	142,080	170,504	178,304	140,972	0	0	0
	正規職員以外	600	3,348	662	544	0	0	0	0	0	0
	小計	116,701	143,916	123,013	142,624	170,504	178,304	140,972	0	0	0
国庫支出金		441,515	711,502	604,055	870,985	666,455	999,247	291,625	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		436,500	716,500	529,700	728,400	551,600	909,400	256,400	0	0	0
そ の 他		0	4,957	0	7,984	2,000	0	5,000	0	0	0
一般財源（税等）		25,370	79,380	48,655	73,068	67,458	97,734	35,220	0	588,425	0
所要人数（人）	正規職員	14.90	18.04	15.69	18.22	21.42	22.40	17.71	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.12	0.67	0.13	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		工事請負費：891,868千円、委託料：124,000千円、補償金：236,500千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	事業進捗状況（測量等委託、用地買収、工事等）	千円	目標値	1,610,219	2,167,906	2,443,483	1,647,654	588,245
			実績値	1,512,339	1,680,437	2,006,381		
			達成度(%)	93.9%	77.5%	82.1%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	事業進捗状況（測量等委託、用地買収、工事等）	千円	目標値	1,610,219	2,167,906	2,443,483	1,647,654	588,245
			実績値	1,512,339	1,680,437	2,006,381		
			達成度(%)	93.9%	77.5%	82.1%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	生活道路において、安全で快適な道路環境の整備の推進を図れているか。
見直し・改善内容	早期完成に向け、更に効果的な整備計画を策定し、事業推捗を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　21775　　事業名　**地方道整備事業（特別需要）**

［長期総合計画］

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政　策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施　策	2	生活道路の整備
取組方針	1	道路の新設・改良の促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	道路橋梁費		
	目	地方道整備事業費		
	大事業	地方道整備事業		
	中事業	地方道整備事業（特別需要）		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	都市再生課	中野	435-1048
事業実施の根拠法令	都市計画法全般	関連課	道路政策課、道路建設課、道路管理課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	道路利用者が安全・安心に通行できる道路整備	生活道路において、安心・安全な道路環境を確保するため、道路の新設・改良を行う。（測量設計業務、用地買収、物件補填、道路改良工事他）

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	道路改良 道路美装化	道路改良 道路美装化	道路改良 道路美装化	道路改良 道路美装化	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		0	122,036	0	0	0	0	0	0	0	0
伸び率（%）		△100%	102.5%	0%	△100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	23,299	23,376	0	0	23,721	25,791	23,403	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	23,299	23,376	0	0	23,721	25,791	23,403	0	0	0
国庫支出金		0	75,977	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	41,200	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		0	4,859	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	2.99	3.00	0.00	0.00	2.98	3.24	2.94	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		当初予算なし									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	市道北ぶらくり丁線の整備進捗	%	目標値		30	50	70	90
			実績値		30	30		
			達成度(%)	%	100%	60%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	北ぶらくり丁商店街における新規出店数	件	目標値		3	3	3	
			実績値		3	3		
			達成度(%)	%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				○
現状維持				
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	本市が目指すウォーカブルなまちなかの実現に向け、居心地が良く歩きたくなる空間を創出していく必要があると考えている。
見直し・改善内容	ウォーカブルなまちなかを実現するため、居心地が良く歩きたくなる道路空間を目指して整備を進めていく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

10343　**市道管理事業**

［長期総合計画］

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政　策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施　策	2	生活道路の整備
取組方針	2	橋梁、トンネル等の適正管理

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	道路橋梁費		
	目	道路橋梁総務費		
	大事業	道路総務事業（道路建設課）		
	中事業	市道管理事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	道路建設課	内田　信行	435-1087
事業実施の根拠法令	道路法、道路構造令等	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	市道（道路建設課所有分）の維持管理のため	道路建設事業に要する諸経費

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	道路建設事業に要する諸経費	道路建設事業に要する諸経費	道路建設事業に要する諸経費	道路建設事業に要する諸経費	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		4,207	3,380	3,259	2,584	3,759	3,245	3,259	0	3,259	0
伸び率（%）		△14.8%	8.9%	△22.5%	△23.6%	15.3%	25.6%	△13.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	156	234	156	156	239	239	239	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	156	234	156	156	239	239	239	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		2	86	2	279	2	220	2	0	0	0
一般財源（税等）		4,205	3,294	3,257	2,305	3,757	3,025	3,257	0	3,259	0
所要人数（人）	正規職員	0.02	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		需用費　1,436千円、委託料　2,323千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	市道（道路建設課所有分）の維持管理	千円	目標値	4,207	3,259	3,759	3,259	3,259
			実績値	3,380	2,583	3,245		
			達成度(%)	80.3%	79.3%	86.3%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	市道（道路建設課所有分）の維持管理	千円	目標値	4,207	3,259	3,759	3,259	3,259
			実績値	3,380	2,583	3,245		
			達成度(%)	80.3%	79.3%	86.3%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	事業着手または事業中については道路の維持管理を行う必要がある。また、土地の寄付により、整備した道路については登記手続きが完了するまで維持管理する必要がある。厳しい財政状況の中、適切な維持管理を行う。
見直し・改善内容	事業完了路線については、早期に移管手続きを行い、一括して管理を行う。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

13069　**地改用地管理事業**

［長期総合計画］

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政　策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施　策	2	生活道路の整備
取組方針	3	安全で快適な道路環境の整備及び通学路の安全確保

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	土木管理費		
	目	土木総務費		
	大事業	土木総務事業		
	中事業	地改用地管理事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	用地課	鈴木　重行	5435
事業実施の根拠法令		関連課	道路管理課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	地改事業の道路用地を整理し市道認定するため。 事業用地の残地を処分するまで管理するため。	地方改善施設移行事業 地区道路の市道認定及び維持管理 事業残地の維持管理

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	市道認定や残地売却等の用地整理のため測量登記する。残地を処分するまで草刈り等の維持管理をする。	市道認定や残地売却等の用地整理のため測量登記する。残地を処分するまで草刈り等の維持管理をする。	市道認定や残地売却等の用地整理のため測量登記する。残地を処分するまで草刈り等の維持管理をする。	市道認定や残地売却等の用地整理のため測量登記する。残地を処分するまで草刈り等の維持管理をする。	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		4,365	2,509	3,322	1,783	2,418	1,617	2,512	0	2,512	0
伸び率（%）		△3.3%	43.3%	△23.9%	△28.9%	△27.2%	△9.3%	3.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	44,025	43,246	43,279	45,619	45,293	47,999	47,999	0	47,999	0
	正規職員以外	11,426	11,126	10,650	4,542	6,035	6,286	2,154	0	2,154	0
	小計	55,451	54,372	53,929	50,161	51,328	54,285	50,153	0	50,153	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		4,365	2,509	3,322	1,783	2,418	1,617	2,512	0	2,512	0
所要人数（人）	正規職員	5.65	5.55	5.55	5.85	5.69	6.03	6.03	0.00	6.03	0.00
	正規職員以外	2.87	2.81	2.86	1.53	1.92	2.00	1.00	0.00	1.00	0.00
主な予算内訳		樹木等処分委託1,111千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	管理件数	件	目標値	46	45	45	42	
			実績値	46	45	42		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	管理面積	㎡	目標値	44053	43967	43764	43609	
			実績値	43967	43764	43609		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	管理コストの現状維持が見込まれる。
見直し・改善内容	地改事業の残地の管理を継続して行う。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

15135　**交通安全施設整備事業**

［長期総合計画］

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政　策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施　策	2	生活道路の整備
取組方針	3	安全で快適な道路環境の整備及び通学路の安全確保

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業			
	中事業			

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	道路管理課	坂上　雅洋	435-1088
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	交通安全施設の新設、補修を実施し、交通事故を防止することで市民が安心して利用できる道路環境を整備する。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設（防護柵、ガードレール、道路反射鏡等）の新設及び補修並びに歩道の整備を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設（防護柵、ガードレール、道路反射鏡等）の新設及び補修並びに歩道の整備を行う。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設（防護柵、ガードレール、道路反射鏡等）の新設及び補修並びに歩道の整備を行う。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設（防護柵、ガードレール、道路反射鏡等）の新設及び補修並びに歩道の整備を行う。	道路の危険箇所を無くすため、交通安全施設（防護柵、ガードレール、道路反射鏡等）の新設及び補修並びに歩道の整備を行う。	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		86,758	76,334	69,758	146,257	72,258	146,760	71,758	0	0	0
伸び率（%）		1.2%	△51.9%	△19.6%	91.6%	3.6%	0.3%	△0.7%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	29,220	32,181	33,766	39,068	42,586	44,576	46,009	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	29,220	32,181	33,766	39,068	42,586	44,576	46,009	0	0	0
国庫支出金		5,000	2,214	500	36,411	1,000	36,502	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		4,500	4,500	400	33,200	900	35,800	900	0	0	0
そ の 他		40,000	0	40,000	41,744	33,000	0	28,500	0	0	0
一般財源（税等）		37,258	69,620	28,858	34,902	37,358	74,458	42,358	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	3.75	4.13	4.33	5.01	5.35	5.60	5.78	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		道路反射鏡設置工事、道路反射鏡補修、区画線設置、交通安全施設設置、交通安全施設整備工事、所々修繕、交差点マーク設置									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	交通安全施設所々修繕件数	件	目標値		50	50		
			実績値	70	56	35		
			達成度(%)	%	112%	70%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	交通安全施設に係る要望件数 ※要望件数が少なければ事業の成果が表れていると判断 （例）目標値30件、実績値50件の場合、達成率は30/50＝60%	件	目標値	５０	５０	５０		
			実績値	６９	６８	８３		
			達成度(%)	72.4%	73.5%	60.2%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				○
現状維持				
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	市道が年々増加するため、整備する交通安全施設も増え、ニーズとしては増加傾向にある。 事業手段について、修繕に関しては受動的な事業実施になるため改善の余地はないが、新設するものは県警等と連携し、事故多発箇所に対して優先的に設備を新設することも可能なことから、一部見直しが必要としている。伴って、県警等と協働が可能であると考える。 事故防止という観点から緊急性が低いとは言えず、中長期的に取り組みたい。 上記のように効果的な新設が行われれば、さらなる事業成果が期待できると考える。 交通安全施設の整備は上位施策である生活道路の整備の一環であるため、一定の貢献度があると考える。 施設の整備について費用的な工夫はできず、負担についても他者に求められるものではない。
見直し・改善内容	新設については計画的かつ効果的に行われるべきであると考えるため、県警の事故発生データ等を活用する等の改善が考えられる。 また、目標及び実績について区画線の設置箇所数や工事箇所数が成果となっていたが、これらは活動指標であるため修正し、成果としては交通安全施設の要望数を設定した。これは、活動指標に設定している事業が効果的に実施されていれば、市道の安全性が向上し、伴って市民からの設置要望が少なくなると考えるためである。

事務事業チェックシート

事務事業No	事業名
8983	狭あい道路拡幅整備事業

［長期総合計画］

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政　策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施　策	2	生活道路の整備
取組方針	4	道路の防災・減災機能の向上

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画費		
	目	建築指導費		
	大事業	建築指導事業		
	中事業	狭あい道路拡幅整備事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	平成30年度　～　無し	担当課・担当課長・Tel	建築指導課	辻本　暢紀	073-435-1100
事業実施の根拠法令	建築基準法	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	居住誘導区域の誘導施策の観点から居住環境の向上の促進を図る	狭隘道路（２項道路）の道路後退および舗装整備の促進を図る

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	狭隘道路拡幅整備時に拡幅後退部分の舗装整備の工事費に補助金を交付する	狭隘道路拡幅整備時に拡幅後退部分の舗装整備の工事費に補助金を交付する	狭隘道路拡幅整備時に拡幅後退部分の舗装整備の工事費に補助金を交付する	狭隘道路拡幅整備時に拡幅後退部分の舗装整備の工事費に補助金を交付する	狭隘道路拡幅整備時に拡幅後退部分の舗装整備の工事費に補助金を交付する

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		1,200	836	1,200	1,064	1,200	853	1,600	0	1,600	0
伸び率（%）		△50%	△21.4%	0%	27.3%	0%	△19.8%	33.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,741	3,741	3,744	3,899	4,299	4,458	4,140	0	0	0
	正規職員以外	2,399	2,399	1,980	1,980	0	0	0	0	0	0
	小計	6,140	6,140	5,724	5,879	4,299	4,458	4,140	0	0	0
国庫支出金		600	650	600	143	600	293	800	0	800	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		600	186	600	921	600	560	800	0	800	0
所要人数（人）	正規職員	0.48	0.48	0.48	0.50	0.54	0.56	0.52	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.48	0.48	0.48	0.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		狭あい道路拡幅整備補助金1,200千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	狭あい道路拡幅整備事業補助金案内	件	目標値	149	139	122		
			実績値	149	139	122		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	狭あい道路拡幅整備補助件数	件	目標値	80	80	80		
			実績値	17	21	16		
			達成度(%)	21.2%	26.2%	20.0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	居住誘導区域の誘導施策の観点から居住環境の向上の促進するため、既存事業の更なる広報活動を実施し、事前協議補助件数の増加を目指す。
見直し・改善内容	補助対象者や関係事業者に対してさらなる広報活動を実施し、狭あい道路（2項道路）の道路後退および舗装整備の促進を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　21894　　事業名　**市道管理事業（特別需要）**

［長期総合計画］

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政　策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施　策	2	生活道路の整備
取組方針	4	道路の防災・減災機能の向上

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	道路橋梁費		
	目	道路維持費		
	大事業	道路維持修繕事業		
	中事業	市道管理事業（特別需要）		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	道路建設課	内田　信行	435-1087
事業実施の根拠法令	道路法、道路構造令	関連課	用地課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	緊急自然災害防止対策事業による舗装修繕	安全で快適な道路環境を確保するため、より身近な生活道路を含め、舗装修繕等の計画的な整備を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	緊急自然災害防止対策事業による舗装修繕	緊急自然災害防止対策事業による舗装修繕	緊急自然災害防止対策事業による舗装修繕	緊急自然災害防止対策事業による舗装修繕	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		20,000	28,868	46,000	47,995	115,700	133,542	150,000	0	150,000	0
伸び率（%）		0%	0%	130%	66.3%	151.5%	178.2%	29.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,793	2,182	3,977	2,886	7,801	8,438	12,100	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,793	2,182	3,977	2,886	7,801	8,438	12,100	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		20,000	28,700	46,000	47,900	115,700	133,500	150,000	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		0	168	0	95	0	42	0	0	150,000	0
所要人数（人）	正規職員	0.23	0.28	0.51	0.37	0.98	1.06	1.52	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		工事請負費　115,700千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	事業進捗状況（測量等委託、工事等）	千円	目標値	26,000	76,924	142,946	157,821	150,000
			実績値	28,868	47,994	133,542		
			達成度(%)	111.0%	62.4%	93.4%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	事業進捗状況（測量等委託、工事等）	千円	目標値	26,000	76,924	142,946	157,821	150,000
			実績値	28,868	47,994	133,542		
			達成度(%)	111.0%	62.4%	93.4%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	舗装修繕等の計画的な整備により、安全で快適な道路環境の確保がなされたか。
見直し・改善内容	効果的な整備となるよう、地域の道路利用状況を確認する。